

○ 資金収支決算の状況

(1) 収入の主な概要

収入面では、地域連携による紹介患者の確保などにより、新入院患者数を増加させるとともに、病棟、診療科間の調整を行うなど効率的な病床運用に努め、前年度並みの病床利用率を確保しました。

また、手術件数の増加、急性期・総合医療センターの内視鏡手術支援機器加算、成人病センターの急性期看護補助体制加算（50対1）などの診療・看護体制の充実による上位基準取得など、診療単価の向上に取り組みました。その結果、医業収益は前年度と比較して32.6億円上回る593.4億円（前年度比5.8%増）となりました。

(2) 支出の主な概要

支出面では、診療機能の充実・強化に伴う医師、看護師の増員などによる給与費の増加、新規の内視鏡手術用ロボットなど医療機器リースなどによる経費の増加、医業収益の伸びに伴う材料費の増加などにより、医業費用は24.6億円増加し、645.6億円（前年度比4.0%増）となりました。

また、平成24年度は精神医療センターの再編整備を実施したため、資本支出は174.1億円と前年度に比べ、90.3億円の大幅な増加となりました。

(3) 資金収支差

資金収支差は、前年度と比較して5.1億円の減少となりましたが、13.4億円の黒字を確保することができました。

【資金収支】

（単位：億円）

区 分	H24 決算	H23 決算	増 減
収入	846.7	737.1	109.6
営業収益	695.7	668.5	27.2
うち医業収益	593.4	560.8	32.6
うち運営費負担金※	97.8	104.9	△7.1
営業外収益	8.6	8.7	△0.1
資本収入	140.3	59.9	80.4
支出	833.2	718.5	114.7
営業費用	654.5	629.8	24.7
うち医業費用	645.6	621.0	24.6
うち給与費	346.7	337.3	9.3
うち材料費	170.1	157.4	12.8
うち経費	123.6	121.2	2.4
営業外費用	4.6	4.9	△0.3
資本支出	174.1	83.8	90.3
資金収支差	13.4	18.5	△5.1

※営業収益の運営費負担金は高度医療等に要する経費に対する負担金であり、企業債等の利息償還に対する負担金は営業外収益に、元金償還に対する負担金は資本収入に含む。

※端数はそれぞれ四捨五入を行っているため、「増減」や各科目の合計が一致しない場合がある。